

【地盤説明】 GL- 2.60m以深に存在するN値7.0以上の砂質土層を支持層とする。

【地盤改良仕様】

工法：深層柱状地盤改良

※ 添加剤量は、施工前に配合計画書を作成して、管理者に提出すること。

※ 一軸圧縮試験を行う。

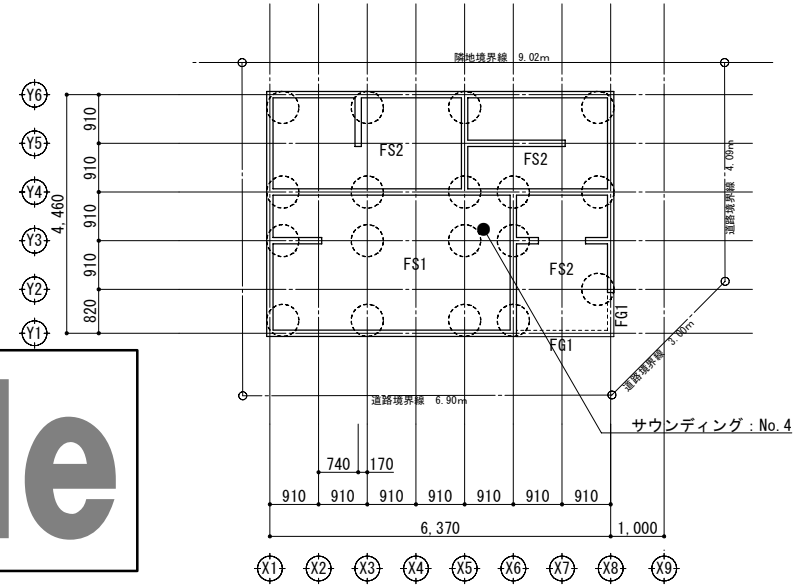
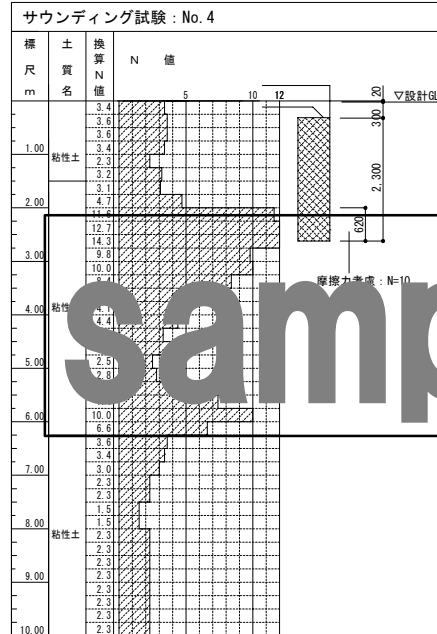
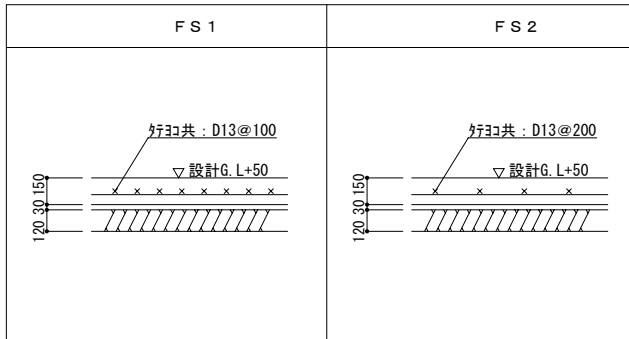
※ コラム長さ等を変更する場合は、検査機関に[軽微な変更]の手続きを行うこと。

設計耐力	最大接地圧	コラム径	基準強度 (Fc)	改良長さ	コラム頭部	コラム先端
長期：30kN/m <sup>2</sup>	長期：25kN/m <sup>2</sup>	600 φ	600kN/m <sup>2</sup>	2,300mm	G.L -300	G.L-2,600

■ 使用材料

コンクリート	躯体	F=21N (JIS:A5308)
	捨てコン	F=16N (JIS:A5308)
鉄筋	D16以下	SD295A (JIS:G3112)
	D19以上	SD345 (JIS:G3112)

底盤リスト 1/30

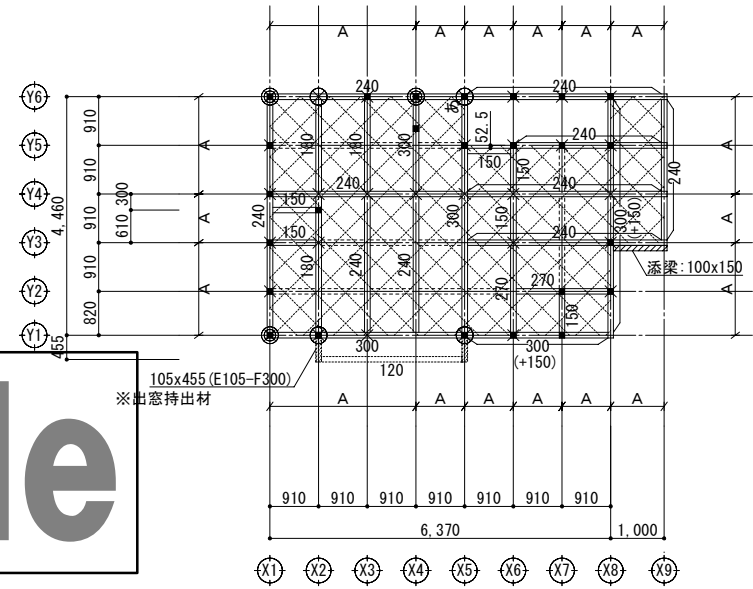
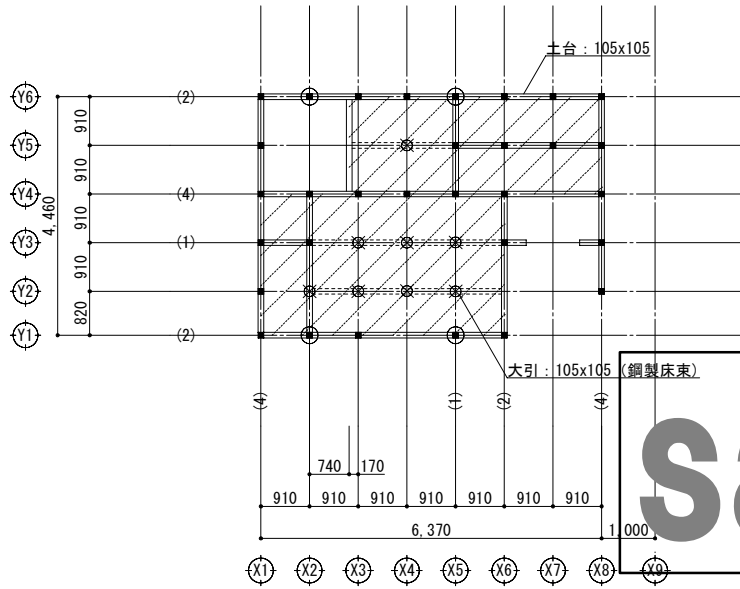


基礎伏図 1/100

※特記無き限り 底盤天端は、GL+ 50とする。  
基礎天端は、GL+300とする。

基礎リスト 1/30

記号	外部：一般部分	内部：一般部分	FG 1
断面			
上端筋	1 - D13	1 - D13	1 - D13
下端筋	1 - D13	1 - D13	1 - D13
S・T・R	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200

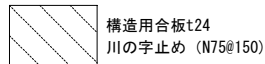


■ アンカーボルト

- ・ ( ) 内数値は、各通りの最小必要本数を示す。
- ・ 筋違を設けた耐力壁の両端柱の近傍に配置する。
- ・ 土台継手の上木端の位置に配置する。
- ・ 出隅柱の近傍に配置する。
- ・ 一般部分の間隔は、2.00m以内に配置する。

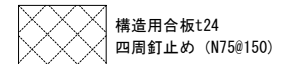
1階柱・床伏図 1/100

※土台天端は、FL-36 (GL+429) とする。

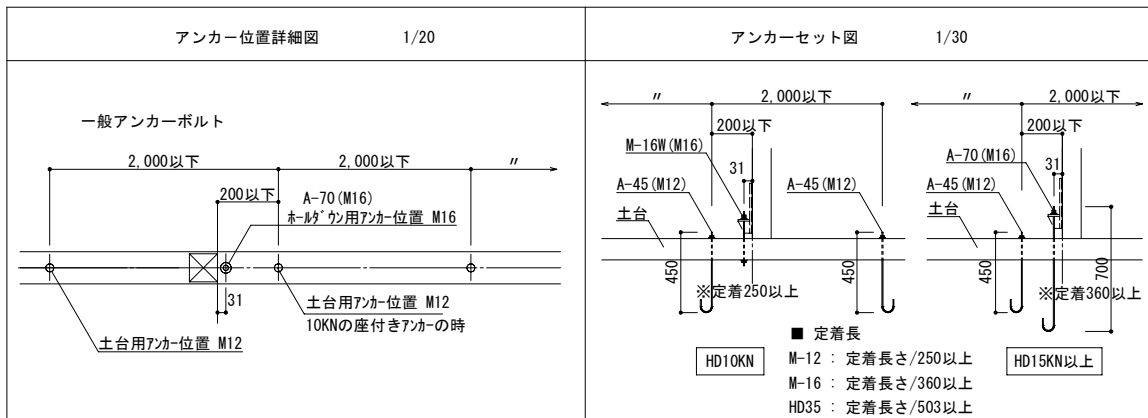


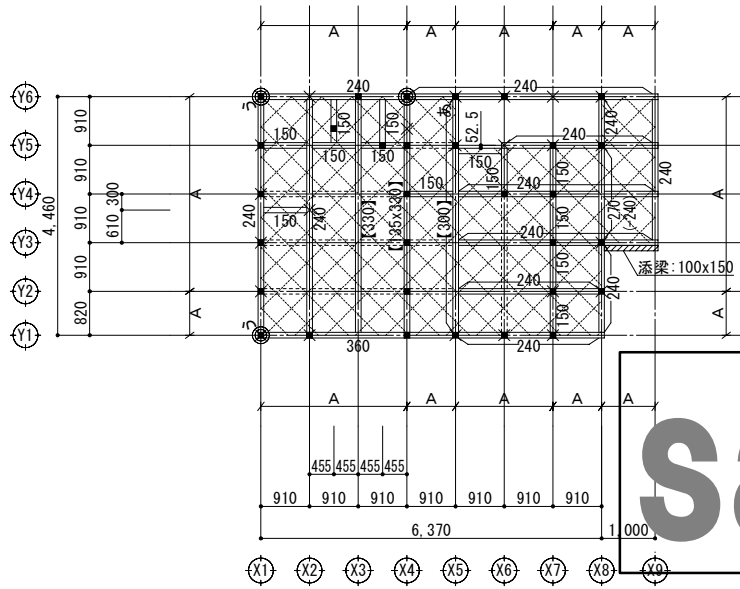
2階柱・梁伏図 1/100

※梁天端は、FL-36 とする。

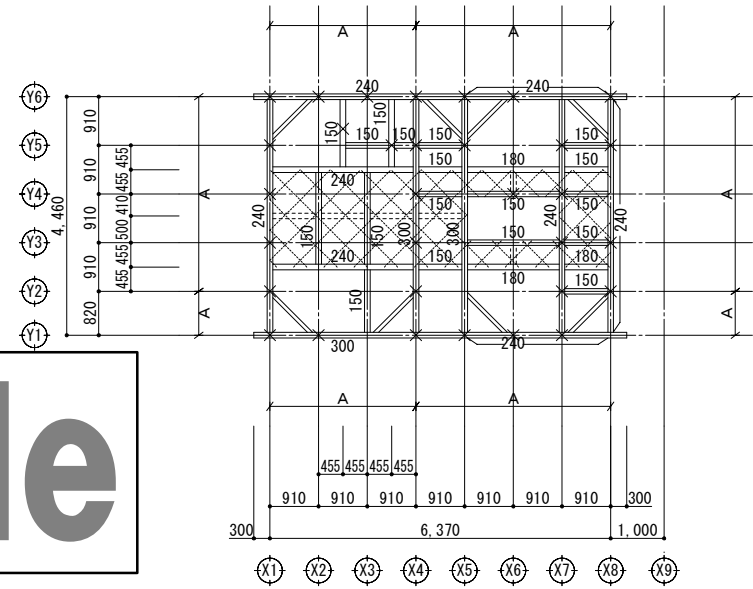


アンカーボルト施工要領図

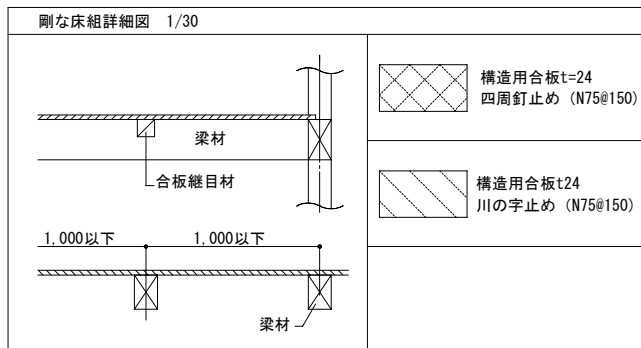


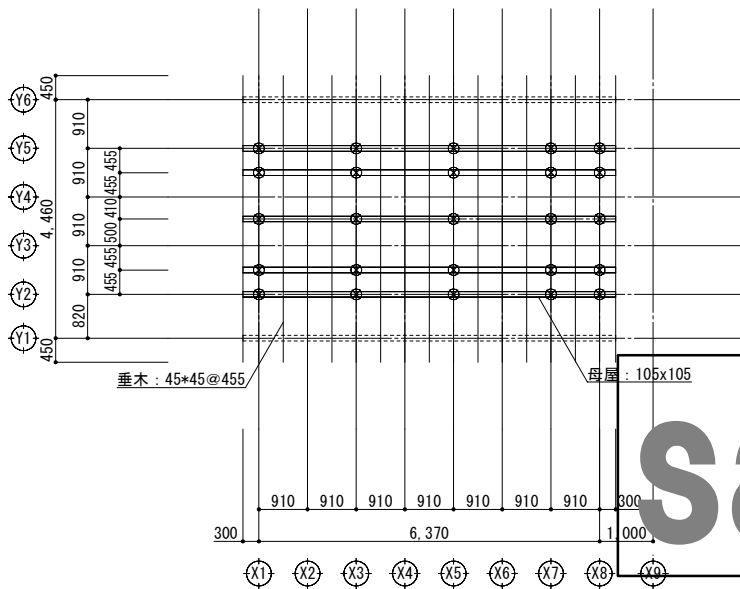


3階柱・梁伏図 1/100 ※梁天端は、FL-36とする。



R階梁伏図 1/100

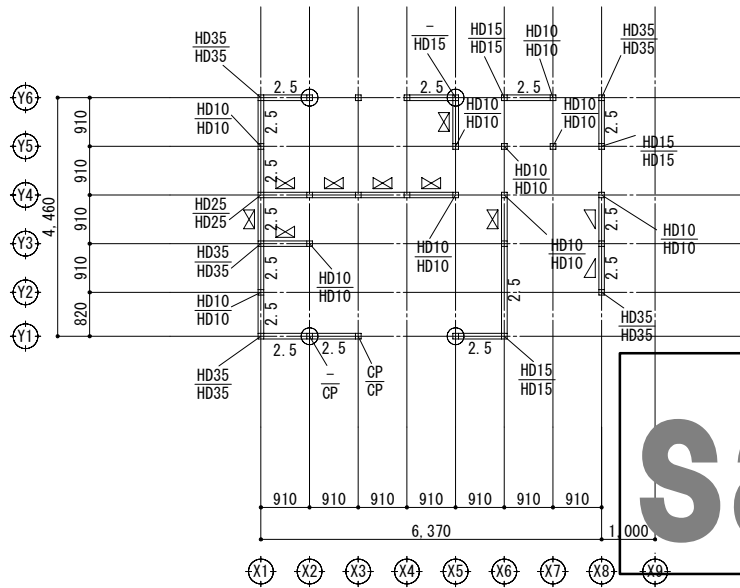




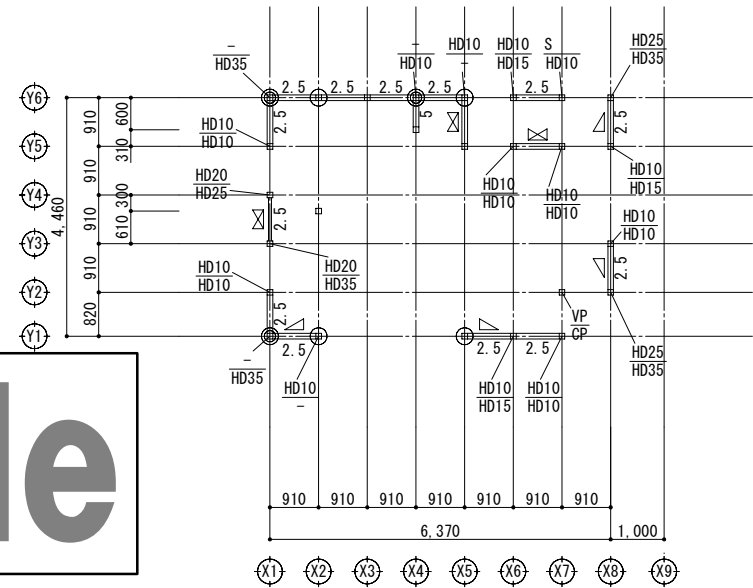
R階屋根伏図 1/100

■ 各階共通事項 ※特記無き限り下記による。

柱		通柱: 105x105 E95-F315(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 同一等級構成 ※2階~3階
		E95-F315(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 同一等級構成 ※1階~2階
梁・金物		管柱: 105x105 E95-F315(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 同一等級構成
		下の階の柱を示す。
		幅x成
		E105-F300(ﾏｼﾞｭｱｶﾏﾌ) 対称異等級構成 ※特記無き梁巾は105
		【幅x成】
		E120-F330(ﾏｼﾞｭｱｶﾏﾌ) 対称異等級構成 ※特記無き梁巾は105
		合板継目材 米松(無等級) : 90x 90
		梁継手金物
		A : 腰掛蟻 + 引寄ボルト1-M12 ※同等品
		A, B, C
	(外周部)	
	B : 腰掛蟻 + 引寄ボルト2-M12 ※同等品	
	C : 腰掛蟻 + HD20	
柱・梁仕口金物		あ : 胴差 + 引寄ボルト1-M12 ※一般部に採用する
		い : 胴差 + 引寄ボルト2-M12 ※梁成360以上に採用する
		う : 胴差 + HD15
梁・梁仕口金物		1 : 胴差 + 引寄ボルト1-M12 ※一般部に採用する
		2 : 胴差 + 引寄ボルト2-M12 ※梁成330以上に採用する
		3 :
※	2・3階床下地	構造用合板t=24mm(N75@150/4周釘止め)
※	野地板	構造用合板t=12mm(N50@150)
※	垂木	米松(無等級): 45x 45 @455
※	母屋	米松(無等級): 105x105@910以下
※	小屋束	米松(無等級): 105x105
※	火打梁	米松(無等級): 105x105又は、火打金物
※	振れ止	米松(無等級): 30x 90@1,800 ※雲筋違として配置する。
1階床組		土台
		米松(防虫防蟻処理材): 105x105 ※柱ほぞ穴は60x30を標準とする。
		大引
※		米松(無等級): 105x105
		床束
	鋼製床束(既製品)	
軸組		防腐処理
		GL+1,000迄クレオソート塗布
		間柱
その他		米松(無等級): 40x105 @455
		筋違
		米松(無等級): 45x 90
	外壁下地	
	構造用合板t= 9mm(N50@150)	
	木材の加工	
	プレカット加工とする	



1階耐力壁配置図 1/100



2階耐力壁配置図 1/100

sample

柱頭金物  
 HD10  
 HD10, 柱脚金物

	1階 柱脚 柱頭	2階 柱脚 柱頭	3階 柱脚 柱頭	合計
① : CP	2 1	1 0	1 7	12
② : VP	0 0	0 1	1 3	5
③ : S	0 0	0 1	0 2	3
④ : HD10	10 10	8 11	9 6	54
⑤ : HD15	4 3	3 0	0 0	10
⑥ : HD20	0 0	0 2	2 0	4
⑦ : HD25	1 1	1 2	2 0	7
⑧ : HD35	5 5	5 0	0 0	15

※HD35許容耐力 : 35.0kN  
 タナカ:ビス止め鉄釘金物/SB2-10A01-03、同等品

※ 金物はZマーク品とし、納まらない場合は同等認定品以上を使用する。

P : かど金物 他 (P-L P-T SM-40)  
 VP : 山形プレート (VP)  
 S : 短冊金物 他 (S SA SB-F SB-F2 SB-E SB-E2 HD-N5)  
 HD : 引寄せ金物 (S-HD HD-B10 HD-N10) ※数値は耐力を示す。

※ HD15以上の引き寄せ金物は基礎定着タイプとする。  
 ※ 筋違い取付は、B-P2 (柱・梁ビス止めタイプ)を用いる。  
 ※ B-P2で納まり不可能なときはボックスタイプとする。  
 ※ 柱・梁は外面合わせを標準とする。  
 ※ HD30以上は、認定同等金物とし検査時に認定証を提出する。  
 ※ 上下階を連結HD金物で結合する場合は耐力の大きい金物を用いる。

■ 筋違いの表記

柱頭側

柱脚側

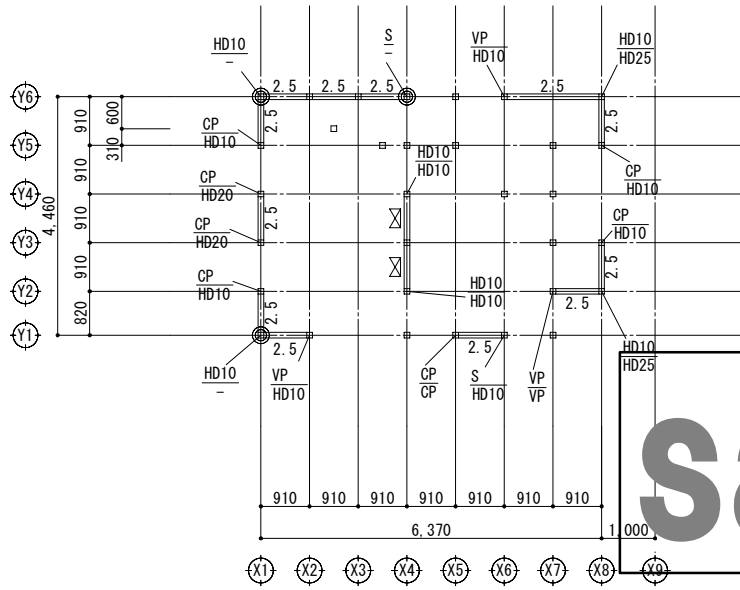
片側筋違い : 45x90を示す

両側掛筋違い : 45x90を示す

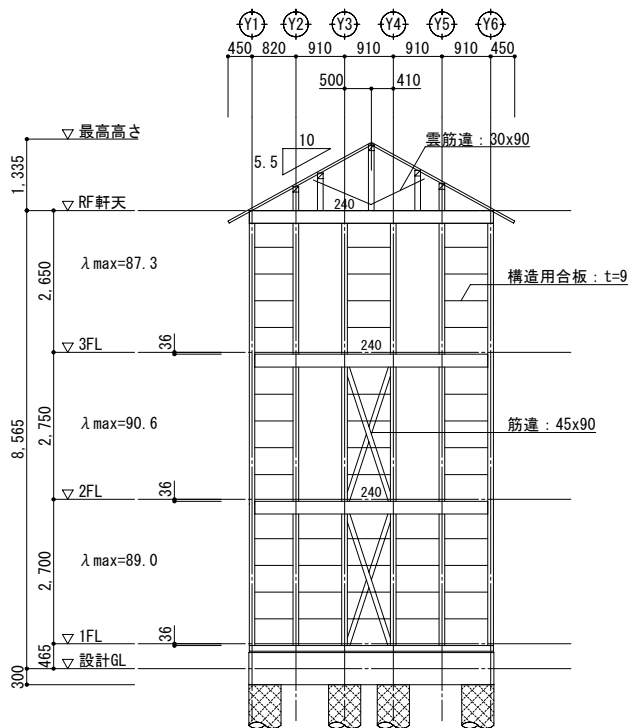
■ 面材耐力壁の表記

数値は耐力壁の倍率を示す

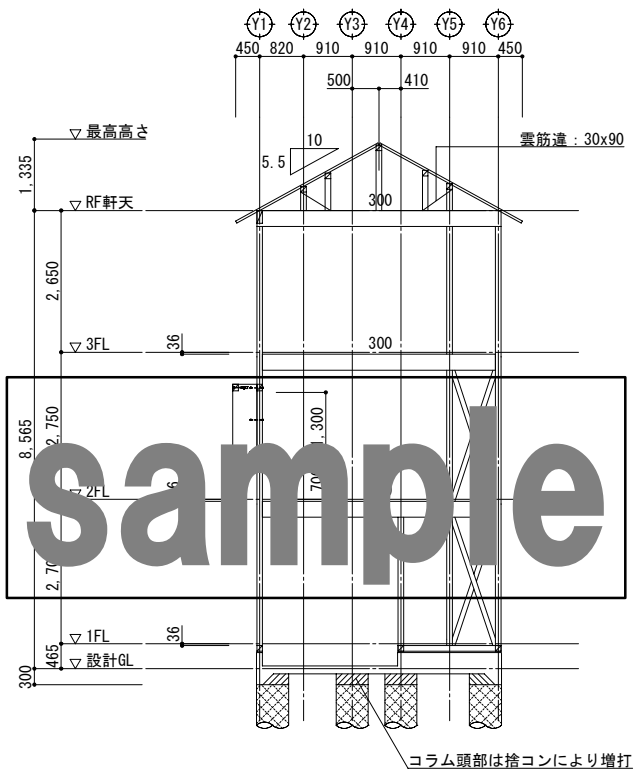
(2.5) 構造用合板t= 9mm(N50@150)※片面張り(外 : 壁勝ち施工)  
 (5.0) 構造用合板t= 9mm(N50@150)※両面張り(外 : 壁勝ち施工)



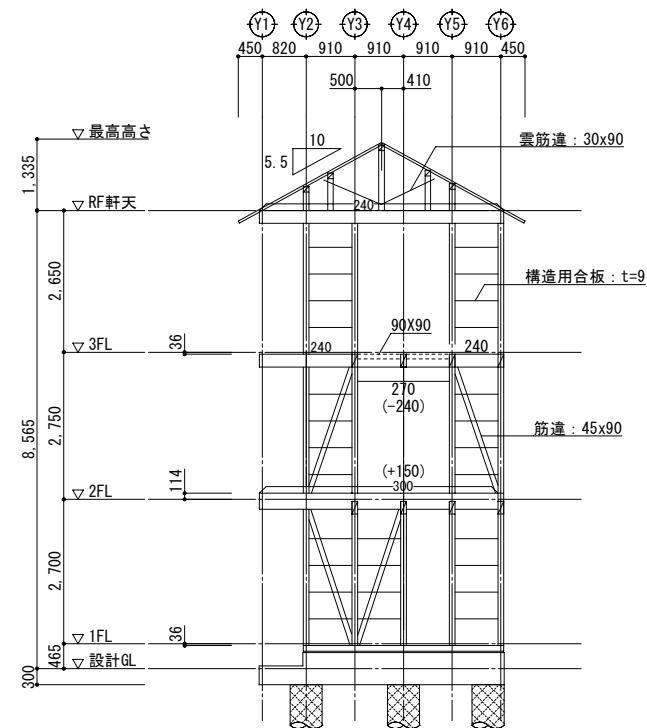
3階耐力壁配置図 1/100



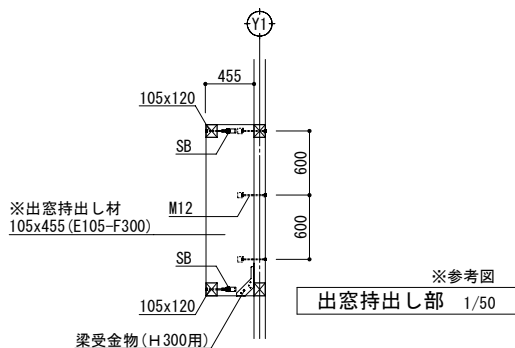
X1通軸組図 1/100



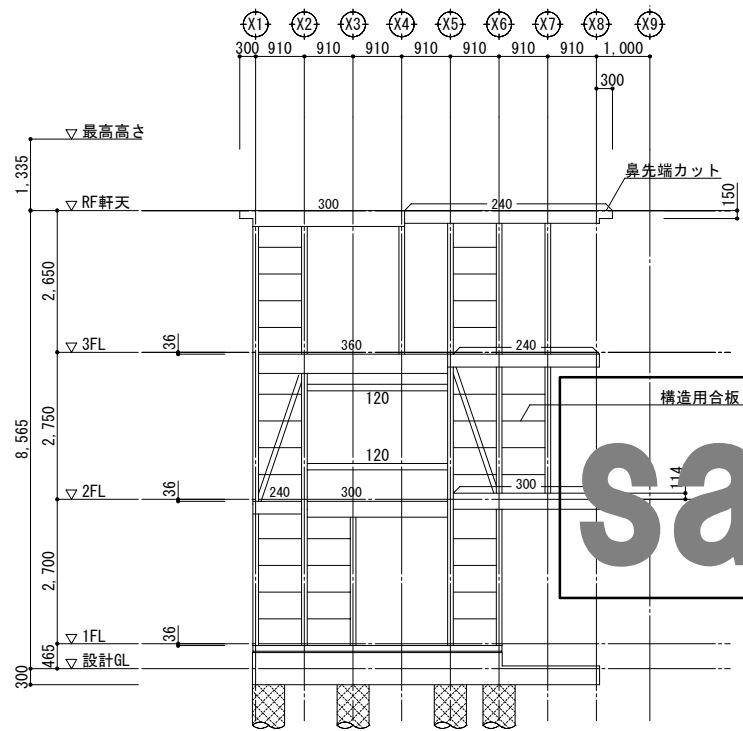
X5通軸組図 1/100



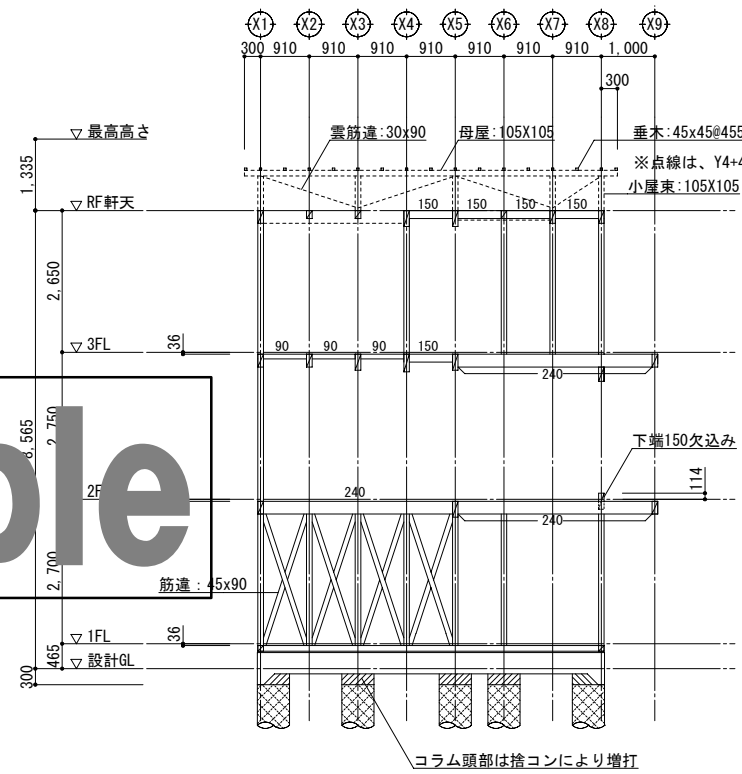
X8通軸組図 1/100



出窓持出し部 1/50

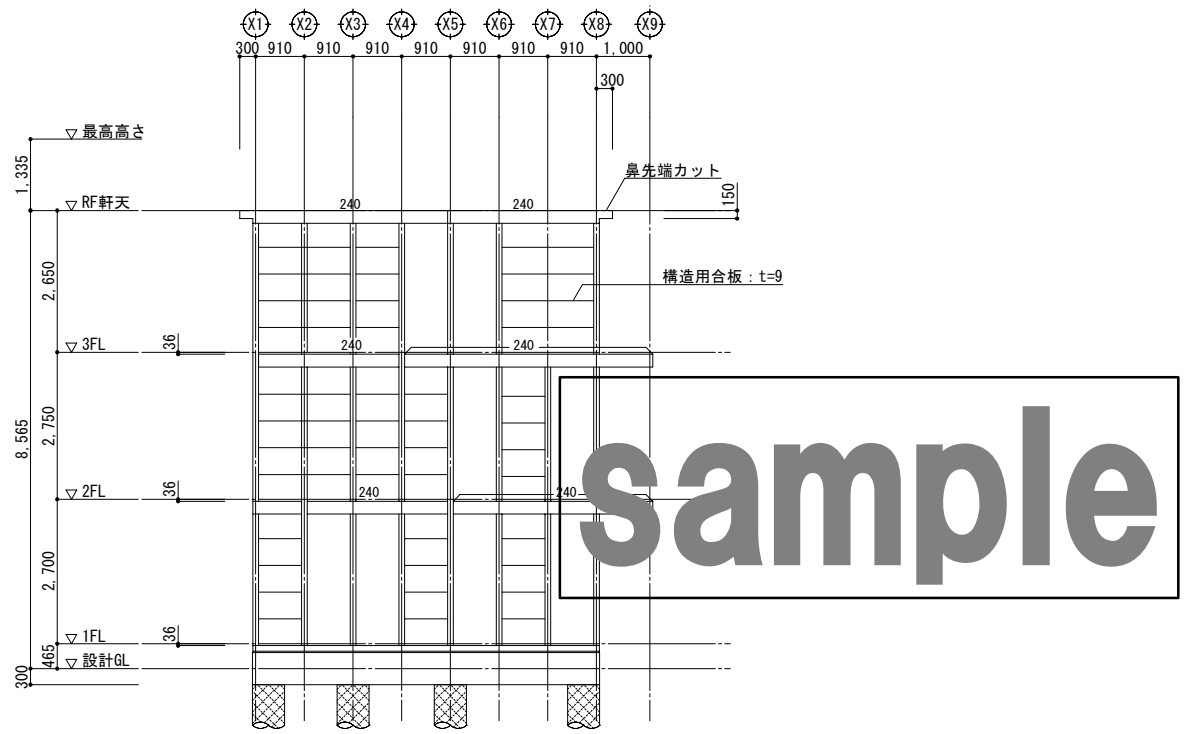


Y1通軸組図 1/100



Y4通軸組図 1/100





Y6通軸組図 1/100